

地球の鼓動に心と体が震えるジオツアー

ジオツーリズム モデルコース

自然のエネルギーの大きさを知る

歴史上何度も繰り返して発生した南海地震の震源地に近い四国南東部には、各地にその巨大な地震エネルギーの痕跡や、先人の伝承が碑という形で残っている。また、この巨大なエネルギーが発散される場所だからこそ、地質学的にも興味深い地層や地形が地表に露出している。これらの地をガイドと一緒に巡りながら、今後30年以内に50%以上の確率で発生するといわれている南海地震に備える教訓を得よう。



1 目 目	ごめん・なはり線奈半利駅	R55 車で30分	①黒耳海岸	R55 車で2分	②キラメッセ室戸・鯨の郷
	戸・鯨の郷	R55 車で15分	③室戸岬・乱礁遊歩道	R55 車で5分	④日沖枕状溶岩
		R55 車で30分	⑤ホテルリビエラしきい(泊)		
2 目 目	⑤ホテルリビエラしきい		⑥海陽町・牟岐町・美波町震災碑巡り		
			⑦日和佐津波避難タワー	車で5分	⑧大浜海岸
				車で5分	

JR日和佐駅



①黒耳



②キラメッセ室戸・鯨の郷



③室戸岬・乱礁遊歩道



④日沖枕状溶岩



⑥牟岐町南海震災記念碑



⑦日和佐津波避難タワー

①黒耳

黒色の泥岩の中に複雑に褶曲した砂岩の断片を含む岩塊が雑然と分布する海底地すべり-土石流堆積物を見ることができる。

②キラメッセ室戸・鯨の郷

特産品の直販所、クジラ料理が味わえるレストランに加え、古式捕鯨の資料やクジラの骨格標本を展示する鯨の博物館がある。

③室戸岬・乱礁遊歩道

室戸岬は南海地震のたびに隆起を繰り返してきた。紀貫之が立ち寄った「御崎の泊」の碑がある前の海岸に隆起の痕跡が見られる。

④日沖枕状溶岩

溶岩が水面下の火口から噴出したり、海に流れ込んで形成された枕状溶岩の巨大なブロックが、周囲から転がってきて鎮座している。

⑤ホテルリビエラしきい

全室オーシャンビューの客室、海陽町に水揚げされた新鮮な魚介類、体の芯まで温めてくれる穴喰温泉が楽しめるリゾートホテル。

⑥海陽町・牟岐町・美波町震災碑巡り

南海地震の震源地に近い徳島県南部には、各地に過去に発生した津波の被害、教訓を書き記した碑が点在している。

⑦日和佐津波避難タワー

津波が来襲したときの避難場所。高さは5.8mあり、約100人を収容できる。倉庫や発光ダイオード(LED)の誘導灯も設けている。

⑧大浜海岸

1950年に世界で初めてウミガメの上陸数が調査され、1967年には砂浜とウミガメが国の天然記念物に指定されている。

⑥康暦の碑

美波町東由岐のイヤ谷中腹にひっそりとたたずむ。銘文に地震の記述はないが、地震津波に関する石碑としては日本最古という。

⑦日和佐津波避難タワー

津波が来襲したときの避難場所。高さは5.8mあり、約100人を収容できる。倉庫や発光ダイオード(LED)の誘導灯も設けている。

⑧大浜海岸

1950年に世界で初めてウミガメの上陸数が調査され、1967年には砂浜とウミガメが国の天然記念物に指定されている。

南阿波～室戸 エリア内のガイドグループ活動状況

○南阿波よくばり体験推進協議会

- ・主 な 活 動：味覚海産物加工体験、カツオのたたき作り、マリンスポーツ、アウトドア、シーカヤックなどのインストラクター
- ・ガイド体制：ガイド300～400名
- ・ガイド料金：3,000円程度（メニューによって異なる）
- ・連 絡 先：〒775-8570 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村 7-4
TEL：0884-72-2622 FAX：0884-72-2623

○NPO法人カイフネイチャーネットワーク

- ・主 な 活 動：フウラン復元活動などの自然保護活動、環境教育、体験型観光、歴史・文化などのガイド
- ・ガイド体制：インストラクター7名
- ・ガイド料金：3,900円 ※船賃別、1隻（定員12名 25,000円）
- ・連 絡 先：〒775-8570 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村 7-4
TEL：0884-72-2622 FAX：0884-72-2623

○ひるね郷、野根

- ・主 な 活 動：観光、史跡、自然など体験観光、民話伝説の語り部
- ・ガイド体制：ガイド1名
- ・ガイド料金：不定
- ・連 絡 先：〒781-7301 高知県安芸郡東洋町野根丙 1901-1
TEL：0887-28-1810 FAX：0887-28-0968

○室戸市観光協会

- ・主 な 活 動：室戸岬周辺室戸ジオパーク案内 室戸岬乱礁遊歩道巡り
室戸岬周辺及び吉良川町並み案内
- ・ガイド体制：ガイド6名
- ・ガイド料金：無料
- ・連 絡 先：室戸市室戸岬町 6939-40
室戸市観光協会 TEL 兼 FAX：0887-22-0574

○吉良川町並み保存会

- ・主 な 活 動：吉良川町並みの文化案内
- ・ガイド体制：ガイド5名
- ・ガイド料金：バス1台につき、2,000円
- ・連 絡 先：〒781-7185 室戸市浮津 25-1 室戸市教育委員会
TEL：0887-22-5142

南阿波～室戸 ガイド養成テキストブック(案)

○テキストブック目次(案)

- | | | |
|----------------------------|-----------|--------------|
| 1. ジオパークの考え方 | 2. ガイドマナー | 3. 地域の概要 |
| 4. 地域資源の解説 | 5. モデルコース | 6. ちょっと寄り道情報 |
| 7. 交通アクセス | 8. 地図 | 9. Q&A |
| 10. 周辺情報(飲食店の営業時間、駐車場情報など) | | |

○地質資源の解説(案)



えびす洞

【解説ポイント】

- ・波による浸食で、形成された洞窟(海食洞)
- ・岩石に発達した割れ目が原因
- ・洞窟は幅 32m、高さ 31m の半円状
- ・洞内にはイワツバメ(町指定天然記念物)が生息



牟岐小学校の震災記念碑

【解説ポイント】

- ・石碑中央に南海地震津波最高潮位が刻まれている
- ・右側が安政南海地震を記した石碑(昭和 6 年建立)
- ・左側が昭和南海地震を記した石碑(昭和 53 年建立)
- ・周期性のある南海地震を後世に伝えている
- ・寺田寅彦「天災は忘れた頃にやってくる」



穴喰浦の化石漣痕

【解説ポイント】

- ・漣痕は波の化石
- ・流れの向きは左下から右上に向かっている
- ・漣痕の表面に、生物の這い跡の化石が見られる
- ・国の天然記念物
- ・どうして水底にできたものが陸上で見られるのか？(理由は隆起したから)



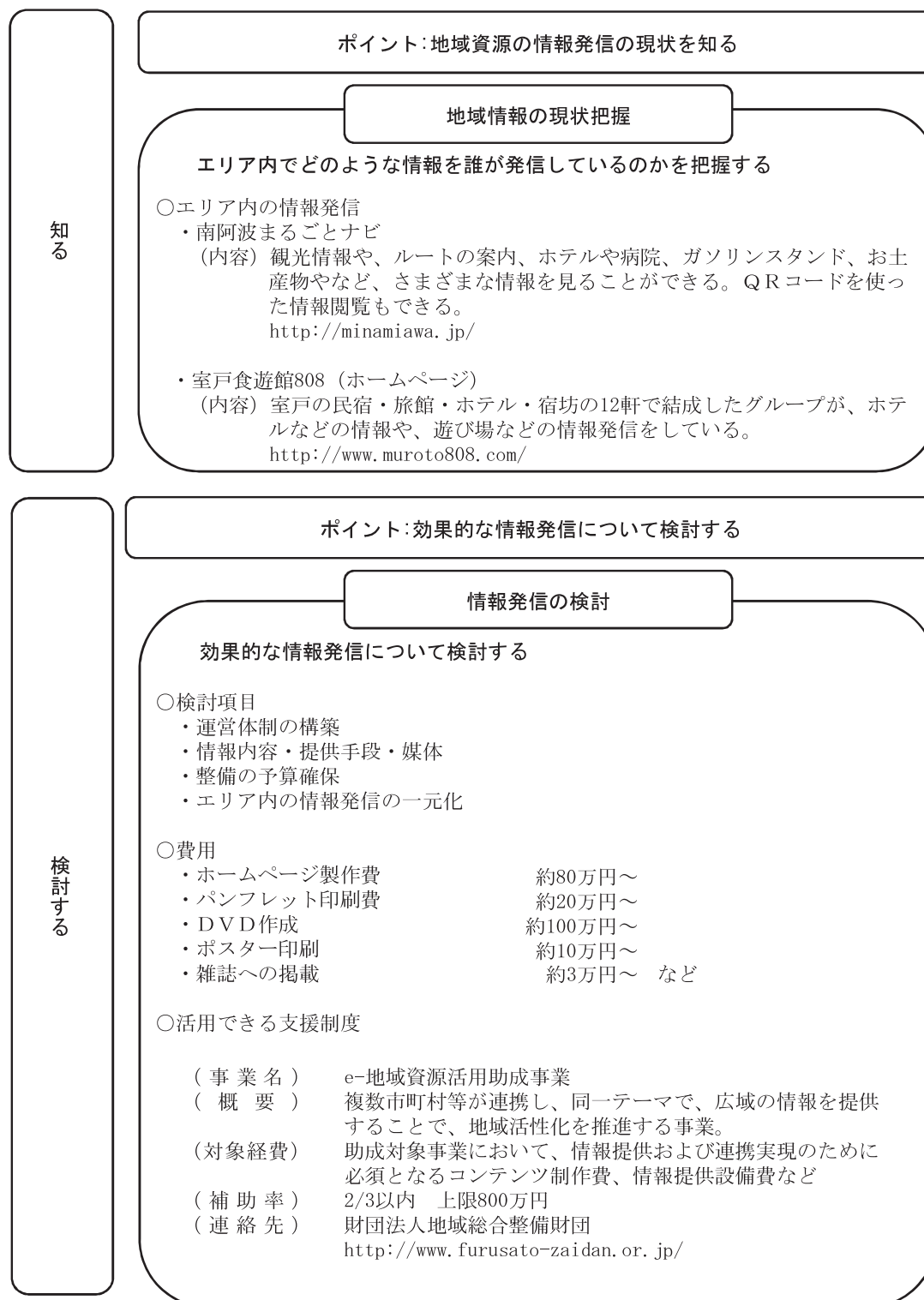
御厨人窟・神明窟

【解説ポイント】

- ・波による浸食で、形成された洞窟(海食洞)
- ・1,200 年前に空海(19 歳ころ)が修行した場所
- ・中から見えたものが空と海だけだったので「空海」と改名
- ・空海が修行した頃はこの洞窟のそばまで波が打ち寄せていた
- ・付近にある斑レイ岩は、昔、お守りの石だった

(5) 広報・情報計画

○今後の取り組み



ポイント：多様な手段で戦略的に情報を届ける

情報発信

ジオパークに関連する地域の情報を戦略的に発信する

○効果的な情報発信（案）

・観光の行動・場面に適した3段階の情報提供

①観光客が計画を立てる段階での情報提供

- 必要な情報：その土地の魅力、宿泊施設、旬の情報、多様な体験メニュー、アクセス方法、かかる時間と費用、口コミ情報など。
- 提供手段：パンフレット、市販のガイドブック・旅行雑誌、ホームページ、インターネットなど。

②移動中の情報提供

- 必要な情報：乗り継ぎや時刻表、案内表示、地図、飲食店、休憩場所など。
- 提供手段：空港や駅などの交通結節点やサービスエリア、道の駅などでのパンフレットや案内地図の配布。カーナビゲーション、携帯電話版ウェブサイト、ラジオなど。

③観光地での情報提供

- 必要な情報：迷わずに安心して観光を楽しめる現地地図、経路案内、休憩場所など。観光客の発見や感動を誘導する情報提供など。
- 提供手段：案内看板やサインを地域の要所に設置、観光案内所における口頭での案内、パンフレット、案内地図、携帯電話版ウェブサイトなど。

○参考事例・情報

①観光客が計画を立てる段階での情報提供

・鎌倉日和

（内容）鎌倉・江の島の自然、文化、人々の暮らしや風情を動画を用い、インターネット限定で発信している。アロハス株式会社と江ノ島電鉄株式会社、カシオ計算機株式会社が協力して作成。

<http://www.enoden.co.jp/kamabi/index.html>

・ふるさと情報プラザ（（財）地域活性化センター）

（内容）東京都千代田区有楽町にあり、観光、物産、イベントなど様々な分野のパンフレットを都道府県市区町村別に無料で展示。地域の産品や観光のプロモーションを実施する地方自治体に、無料でスペース提供などの支援。

<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/plaza/index.htm>

②移動中の情報提供手法

・南阿波まるごとナビ（農林水産省：農山漁村地域力発掘支援モデル事業）

（内容）マイカー利用の県外客らが迷いやすい交差点などに専用のFM電波発信器を設置し、FM電波を利用した地元の情報提供している。カーラジオの周波数を合わせ、発信器に近づくと、音声で道案内やイベント情報など周辺の観光情報が流れる。

・交通結節点の活用

（内容）レンタカー会社や道の駅などで地域の案内地図を配布する。

③観光地での情報提供手法

・大阪まちあるき音声観光ウォーキング

（内容）音声による観光ガイドをインターネット閲覧ソフトからダウンロードしてiPodなどの携帯オーディオプレーヤーに取り込む事で、大阪の観光、歴史スポットをより深く知り楽しむことができる。

・現地で情報提供

（内容）飲食店のランチョンマットに案内地図をプリントする。

発信する

参考事例・情報

○エリア内の情報発信の方法

・糸魚川ジオパークのホームページ

(内容) 糸魚川ジオパークのホームページは、糸魚川ジオパーク連絡協議会が運営するウェブサイトで、ジオパークの紹介をスライドショーで見ることができたり、地域の特徴を知ることができる。また、リンクしている博物館のホームページではイベント情報を見ることが出来る。こういった情報を世界に向けて、英語・日本語で発信している。

http://www.city.itoigawa.niigata.jp/geopark/Top_Page_of_Itoigawa_Geopark/top-page1.html



(出典：糸魚川ジオパークホームページより)

○観光地でのユニークな情報提供

・鳥取県・境港「水木しげるロード」にある妖怪饅頭の妖怪新聞

(内容) 特産品「妖怪饅頭」は、お土産として非常に人気で、旅行を終えてからも、「また食べたい」というリピーターが多い。人気の秘密は、包み紙で、新聞をイメージしたデザインには、地域ならではの情報が盛りだくさん書かれている。その情報は、購入する以外では読むことができず、観光客の発見や感動を誘導し、リピーター獲得に成功している。

<http://youkai.ocnk.net/>



(出典：妖怪饅頭ホームページより)

○視覚に訴える情報発信

・松山市デジタルサイネージ(※)で視覚的に情報を伝える仕組み

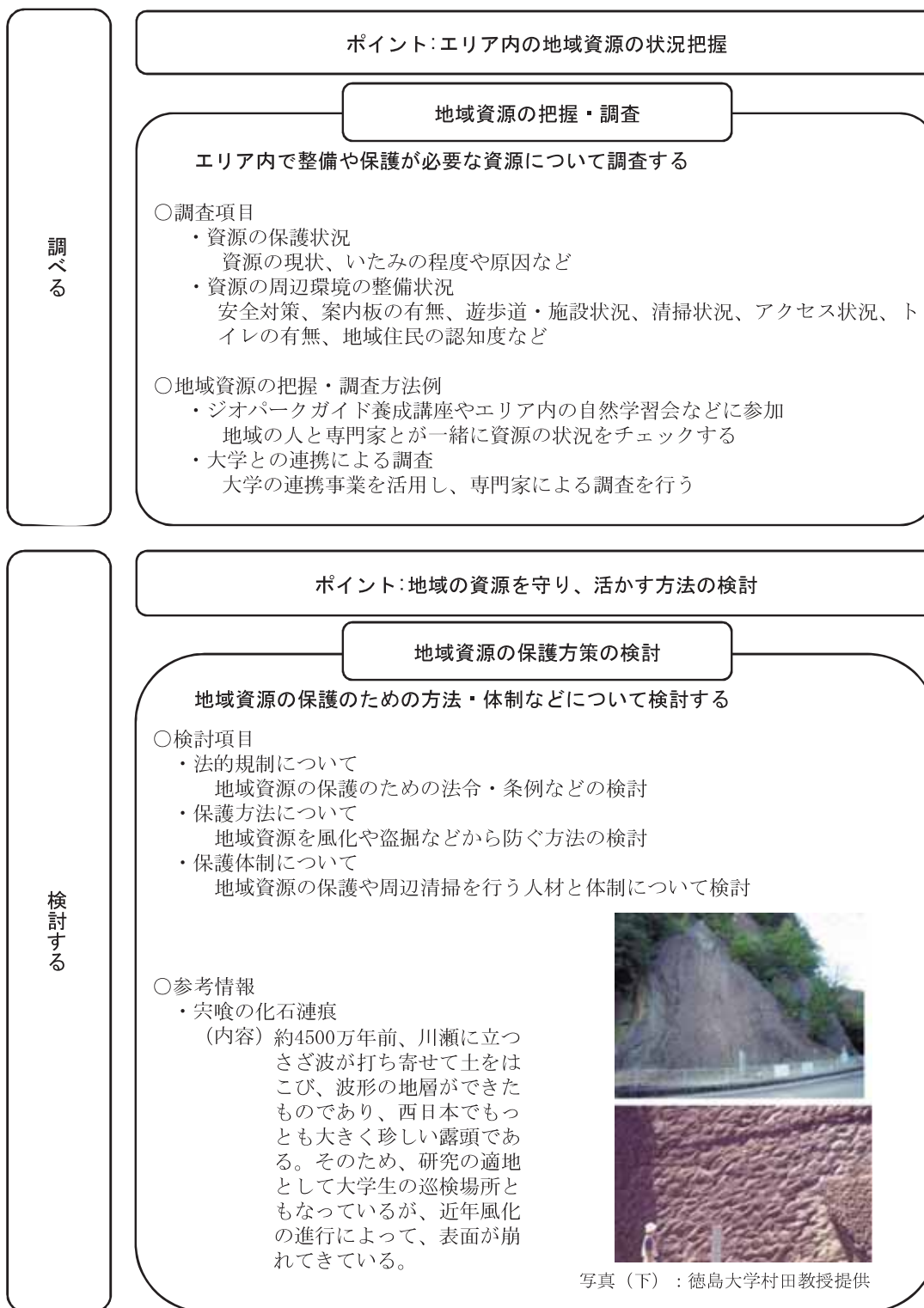
(内容) 松山市のバスターミナルなどには、地域のコマーシャルを見たり、地域情報を得ることができるデジタルサイネージが設置されている。タッチパネルで容易に操作することができ、地図情報を携帯に送ることなども可能である。

※デジタルサイネージ

表示と通信にデジタル技術を活用し、平面ディスプレイなどによって、映像や情報を表示する広告媒体。表示内容を多数、また必要に応じて切り替えることが出来るため、多様な映像広告を展開できる。現在は主に商業用途の広告や販促ツールとして使われているが、ホテルのコンシェルジュのような案内・相談ツール、学校や地域共同体でのコミュニケーションツールとしても使用が可能。

(6) 管理計画

○今後の取り組み



ハード整備の検討

エリア内で必要なハード整備について検討する

○検討項目

- ・必要な設備の洗い出し
- ・既存設備の修繕・利活用
- ・遊歩道、ビクターセンター、看板、トイレ、休憩所などの整備

○整備方法例

- ・統一されたデザインの案内看板
(内容) 先進事例調査を行ったカナウィンカジオパークでは、申請前からデザインや色を統一した説明看板を域内に整備している。



○活用できる支援制度

- | | |
|--------|--|
| (事業名) | 徳島県文化振興事業費補助金 |
| (概要) | 文化の振興及び文化財保護に資する文化活動、並びに文化財保存事業に要する経費の一部を助成する。 |
| (対象経費) | 文化の振興及び文化財保護に資する文化活動、並びに文化財保存事業に要する経費 |
| (対象団体) | 市町村など |
| (補助率) | 1/2以内 |
| (連絡先) | 徳島県教育委員会文化財課
Tel 088-621-3162 Fax 088-621-2886 |
| (事業名) | まちづくり交付金 |
| (概要) | 地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かしたまちづくりを行うことにより都市の再生を推進し、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度。 |
| (対象経費) | 施設・面整備、調査、提案事業等 |
| (対象団体) | 市町村(都市再生整備計画の作成が必要) |
| (補助率) | 原則4.5/10 |
| (連絡先) | 財団法人都市みらい推進機構
http://www.toshimirai.jp/index.html |

○施設案

- ・コミュニティカフェ
(内容) 地域の人と観光客がカフェという空間を利用して、まちづくりを考えたり、情報を集めたりする場所づくりを検討する。公民館などの既存施設の利用も可能。
- ・ポケットパーク
(内容) 地域の生活環境を良くすることを重視し、気軽に休める憩いの場として、道路わきや街区内の空き地などわずかの土地を利用した小さな公園またはトイレなどを完備する休憩所を整備する。

○参考事例

- ・東北大学 カフェ図書館 P l a t
(内容) 東北大学の学生グループ「仙台都市デザイン研究会」が公共図書館がない福島県桑折町の蚕糸工場跡地に、カフェと図書館が融合した施設「カフェ図書plat」を運営している。
<http://cafe-tosho.net/>
- ・カナウィンカジオパーク 地域インフォメーションセンター
(内容) オーストラリアのカナウィンカでは、公民館のような場所で、住民がボランティアスタッフをしながらその地域の情報を提供しているインフォメーションセンターがあった。

ポイント: 地域の資源を持続的に保護する

地域資源の保護

持続可能な維持管理体制を確立し、地域資源を保護する

○参考事例

・法的規制

－「四万十川条例」と「文化財保護法」（高知県 四万十川流域）

平成13年に環境をテーマとした魅力ある地域づくり、誇りある地域づくりを進めるよう市町村にまたがった条例を作っており、環境配慮指針等を定めている。また、この地域は全国で初めて複数自治体にまたがる流域全体で「重要文化的景観（※1）」として制定され、文化財保護法のもと、流域全体における保存・活用方法を模索している。

※1 重要文化的景観

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの。

－ 日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例（鳥取県）

県民共有の財産であり、世界に誇る地域の宝である鳥取砂丘を、砂丘利用者とともに守り育てていくため、県や砂丘利用者の責務、県の保護施策、利用者への規制などを含めた条例を定めた。

・保護方法

－ カナウインカの地域資源（鍾乳洞地形）を利用した公園

鍾乳洞特有のクレーターのような地形を利用して、公園を整備している。公園内は花であふれており、小動物も住んでいるため、観光客や地域の人の憩いの場として利用されている。



・保護体制

－ アドプトプログラム（※2）

徳島県では「アドプト大国 徳島」として、701団体、35,579人がアドプトプログラムに参加しており、なくてはならない制度として県民の間に定着してきている。

http://our.pref.tokushima.jp/adopt/ad_seido.php

※2 アドプトプログラム

地元企業や住民の皆さんが、地元の道路や川の土手のような公共物を自分たちの養子とみなし、定期的に空き缶拾いなどの清掃活動を行う、アメリカ生まれのボランティア制度。

－ 鳥取砂丘レンジャー（非常勤職員）

鳥取県では鳥取砂丘の地質、地形、植生、歴史などに関する解説指導や節度ある利用のための指導又は助言ができる人材を鳥取砂丘レンジャーとして平成21年3月から配置する予定（募集人数は2人）。

・保護費用

－ 新温泉町 新町「地域資源」保護育成基金創設プロジェクト

山陰ジオパークに含まれる新温泉町では、山陰海岸国立公園、ルーツ温泉（荒湯の高温自噴の天然性、歴史性）、バイカモ、杜氏、多くの先人等を新町の地域資源として指定し、その保護や育成のために関連するプロジェクトを支援する新たな基金を創設して『「地域資源」発信町』の実現をめざしている。